

第26回JKJO全日本空手審判機構中部 中部地区審判講習会交流組手試合のお知らせ

拜啓 皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

この度、「第26回中部地区審判講習会交流組手試合」を行なう事となりました。

フルコンタクト空手のジュニア大会全盛の今日、ルール統一、審判技術の向上を計り、どの大会に出場してもクリーンで公平・厳格なる大会となるように、流派・団体を超えての交流を目的に現在は全国200団体以上が参加をしております。

これも全て選手の為に行なう活動が全国的に認められたからこそではないでしょうか。

中部地区空手界の発展のためにも、各団体の皆様のご理解とご協力を頂けます様、宜しくお願い申し上げます。

日時 平成26年6月1日(日)
会場 可児青少年育成センター(錬成館)

〒509-0242 岐阜県可児市谷迫間806番地2
TEL 0574-62-8600

主催 JKJO全日本空手審判機構中部
主管 JKJO 岐阜審判講習会

<参加費>

※男子学年別・女子学年別(参加人数によりクラス統合あり)

※入賞経験ありの部・入賞経験なしの部・初心の部のトーナメントを行ないます。

選手	審判員(選手参加あり)	審判員(選手参加なし)
1人 2,600円(オスカラテ込み)	600円(オスカラテ代)	1団体につき2,600円(オスカラテ込み)

*別途、ライセンス受講者・更新者は登録料として1,000円が必要です。

<ライセンス取得条件>

高校生以上で空手修行4級以上の者。

C級以上の受験者は原則空手修行5年以上かつ黒帯以上
(所属道場責任者推薦のある場合2級以上の者も受験可能。)

C級以上の受験者は救急救命セミナー講習経験が必要です。

(所属道場等で救急救命を行った場合、修了書のコピーを提出して下さい。)

D級以上はJKJO公認大会で年に2回以上審判実務経験が必要です。

E級	講習会参加3回目で取得(無試験)
D級	E級取得後、講習会参加2回目で取得(無試験)
C級	D級取得後、講習会参加2回目で取得(実技・筆記)
B級	C級取得後、講習会参加2回目で取得(実技・筆記)
A級	B級取得後、講習会参加2回目で取得(実技・筆記)
S級	S級検定試験(年2回開催)でのみ受験可能(今回は受験できません)

※前回受験で不合格となった方は4ヶ月期間を置いて再受験して下さい。

※初参加団体は、事前にJKJO参加申請書を提出して下さい。

個人初参加の方も、同様に個人登録JKJO参加申請書を提出して下さい。

※受験申込書について

ライセンス受験及び更新の方は、申込時に受験申込書を提出して下さい。

ライセンス証発行の際に使用しますので、必ず写真を添付して下さい。

未提出の場合は当日参加しても講習者扱いになりますのでご注意ください。

※ライセンス有効期限について

ライセンスの有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行って下さい。

※その他

ご自分が現在何級なのか、今回受験が可能か等不明な方は、事前に事務局へお問い合わせ下さい。

※ 審判講習を受講する方はライセンス問わず笛を持参して下さい。

※ 代表者・A・B級のライセンス取得審判員のみ、お弁当付きになります。(今回でB級取得は含まない。)

<申込締切>

2014年5月1日(木)必着

申込先 〒509-0213

岐阜県可児市瀬田 825-6

神谷塾 神谷由紀

TEL/FAX 0574-61-5888

①審判講習会 参加申込書 ②公認審判員受験申込書

③審判員受験、更新料(1名につき1000円)

各団体ごとに現金書留にて右記の住所まで郵送してください。

<当日スケジュール> 12:30~13:15は昼休憩

A・B級	9:30 救急救命セミナー 10:30 初心者講習(講師として) 13:30 交流組手試合 17:00 終了
	A・B級取得者は、10:30からの初心者講習へ講師として、参加して下さい。
C・D・E級及び今回E級取得者	9:30 救急救命セミナー 10:30 初心者講習 13:30 交流組手試合 17:00 終了
ライセンスなし	10:30 初心者講習、交流組手練習会 午前で終了 午後からは 任意でコート係りをお願いします。
選手	9:00 選手 受付 13:30 交流組手試合 17:00 終了 ※午前中は組手練習会を行いますので、選手は全員参加してください。
代表者	12:30~13:15代表者会議 13:30~交流組手試合 17:00 終了

今回、A・B・C級に受験の審判員の方は、午前中に2F会議室にて「筆記試験」を行います。

★お願い★

審判講習会の内容をより良い実習にする為、試合中に誤審判定をくつがえしたり、審判員、選手への注意・指導が多くなります。それにより、父兄・先生による応援は一切禁止します。

☆館内はすべて禁煙になっております、ご協力下さい。

☆履物は袋持参で館内に持ち込んでください。(入口に靴を放置しないでください。)

☆試合ではなく講習会のため応援は一切禁止とします。ご了承下さい。

○審判向けのご案内

○ライセンス取得条件

高校生以上かつ空手修行4級以上の者、又はJKJO参加団体代表者が推薦した者のみ参加可。
C級以上受験は原則空手修行5年以上の黒帯ですが、所属団体責任者推薦がある場合、空手修行5年以上2級以上の者も受験可。その他、C級以上受験者は救急救命セミナー講習経験必要。所属道場等で救命講習を行った場合、修了書のコピーを提出して下さい。

E級：講習会3回目で取得 D級：E級取得後→講習会参加2回目で取得
C級：D級取得後→講習会参加2回目で取得（B級以降も同様）
S級：年2回開催のS級検定でのみ受験可。（今回は受験できません）

《初参加団体は事前にJKJO参加問診表を提出して下さい。個人参加も同様です》

○参加費 600円（但し、選手の参加が無い場合、2,600円/団体）

*別途、ライセンス受講者・更新者は登録料として1,000円が必要です。

○持ち物 ホイッスル、審判員証（不携帯の場合は不合格となります。）

服装は白シャツ・ネクタイ・紺か黒のスラックス・筆記用具

女性も白シャツと紺か黒のスラックス。過度のアクセサリ類は禁止。

シャツはスラックスの中へ入れること。

○筆記試験について：機関誌「オスカラテ」掲載の判定基準を完璧に把握しておくこと。

E級とD級は無試験

C級筆記試験：審判の心得、基本的審判動作、判定基準など

B級筆記試験：注意の数、技ありの有無、各組み合わせの状況における判定基準を符号(>、≤、=)で解答

A級筆記試験：B級試験をベースにした応用問題

○受験申込書について：受験の方は申込時に受験申込書（写真つき）※（写真は正装で男性はネクタイ着用、女性は白シャツ）と一緒に提出しないと、当日参加しても予備講習扱いとなります。写真未提出者も同様の扱いです。

※ご自分が現在、何級なのか、今回受験できるのか等不明な方は、事前に事務局にお問い合わせ下さい。TEL（0561）85-3195（男塾事務局）

○申込締切 **5月1日（木）必着** 締切以降の申込みは一切受けません。

○申込方法 団体一括で申込みと支払いをお願いします。

申込書と費用を現金書留で一緒にご送付下さい。

※ライセンス受験者がいる場合は、受験申込書の本紙をメ切までに郵送のこと。

※受験申込書に記入もれがある場合は、受験できません。予備講習扱いになります。

○書類送付先

郵便番号 〒509-0213

住所 岐阜県可児市瀬田825-6

神谷塾 神谷由紀

TEL/FAX 0574-61-5888

携帯電話 090-8678-0893

JKJO全日本空手審判機構 審判講習会 参加申込書 (FAX可)

●開催内容(講習会開催者入力欄)

地区名(○をして下さい)	北海道・東北・甲信越・北陸・関東・中部・関西・中国・四国・九州		
講習会開催者名			
問い合わせ先	TEL		FAX
講習会日	西暦	年 月 日()	会場
参加申込期限	西暦	年 月 日()	

●参加申込明細(参加者(道場)入力・記載欄)

道場名		代表者名	
連絡先	TEL	FAX	

●参加者名簿(参加道場入力・記載)

- * 今回受験の欄に記載した方は、別途「受験申込書」と、ライセンス登録料1,000円を期限までに提出して下さい。受験申込書が事前に提出されていないと、当日受験できませんのでご注意ください。
- * まだライセンスを取得していない方は、現級欄に「講習1回」または「講習2回」と記載して下さい。講習3回目でE級受験となります。また初参加の方は、講習欄に「初参加」と記入して下さい。
- * ライセンス獲得者は、取得後1回講習を受けなければ次級受験ができません。次級受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 検定結果不合格の場合は現級更新扱いとなります。再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 再受験の方はライセンス取得日欄に「●年●月●日●級不合格」と記入して下さい。例を参照。
- * ライセンス有効期間は2年です。昇級を希望しない方も失効前に要更新受験。

No	フリガナ 氏名	年齢	空手 段級	現級 (ライセンス)	ライセンス 取得日	ライセンス取得後 の講習日	今回 講習の方	今回受験 の方	ライセンス 登録料
	(例) 初参加の方	30	4級	—	—	—	初参加		
	(例) 講習2回目の方	18	2級	講習1回	—	—	講習2回目		
	(例) 講習3回目(E級受験)の方	25	初段	講習2回	—	—		E	1,000円
	(例) D級受験の方	20	4級	E	2009/1/31	2009/7/31		D	1,000円
	(例) D級取得後講習受講の方	40	三段	D	2009/1/31	—	○		
	(例) B級再受験の方	25	初段	C	2009/1/31 B級不合格	2009/7/31		B	1,000円
	(例) A級更新受験の方	50	参段	A	2008/3/1	2009/1/31		A(更新)	1,000円
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

合計

円

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部
登録料 1,000円

受験日	西暦 2014 年 6 月 1 日 (日)	会場名	
開催地区	北海道・東北・甲信越・北陸・関東・中部・関西・中国・四国・九州		

* S級(準S級)受験の方はS級専用申込書にてお申込みください。* 前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	A B C D E 級 (○を付す)	受験区分	新規・再受験・更新 (○を付す)
登録No	— 審判認定証参照 初受験の場合未記入	所属道場	
ふりがな		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		性別	男・女 年齢 歳

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
正装・脱帽
裏面に名前

住所	(〒 都道府県)											
電話番号	— —	メール										
職業		空手段位	級・段 空手修行歴 年 ヶ月									
現ライセンス	A B C D E 級 (○を付す)	現ライセンス取得年月日	西暦 年 月 日 <small>今回受験日が現級取得日から4か月以上経過していること</small>									
現ライセンス認定検定員名	(審判認定証参照)											
現ライセンス取得後の講習会参加日	* E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入 西暦 年 月 日 西暦 年 月 日 西暦 年 月 日											
指定大会・公認大会審判経験	<table border="1"> <tr> <td>西暦 年 月 日</td> <td>大会名</td> <td>主審・副審</td> </tr> <tr> <td>西暦 年 月 日</td> <td>大会名</td> <td>主審・副審</td> </tr> <tr> <td>西暦 年 月 日</td> <td>大会名</td> <td>主審・副審</td> </tr> </table>			西暦 年 月 日	大会名	主審・副審	西暦 年 月 日	大会名	主審・副審	西暦 年 月 日	大会名	主審・副審
西暦 年 月 日	大会名	主審・副審										
西暦 年 月 日	大会名	主審・副審										
西暦 年 月 日	大会名	主審・副審										
B級以上受験者：救急セミナー参加経験	* B級以上は2年に一度受講義務になります。未受講の方は受験・更新できません。 西暦 年 月 日 場所											
S級受験者：検定員補助経験	西暦 年 月 日 場所 西暦 年 月 日 場所											
備考	* 道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください * S級検定の場合、所属地区推薦者名(検定員)をここに記入											

(以下、検定員記入欄)

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定

* 実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1	2	補助検定員名(A級)
※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください (例:ライセンス不携帯の場合減点1で「4」に○)				
服装 (審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品)		5	4	3 2 1
入退場時の動作		5	4	3 2 1
反則、有効技に対する反応 (アクシデントに対する対応も含む)		5	4	3 2 1
判定時の動作 (笛・旗)・姿勢 (副審席・主審の場合立ち位置)		5	4	3 2 1
主審・副審間の連携 (試合中反則選手への警告等)		5	4	3 2 1
判定の正確性		5	4	3 2 1

※筆記試験/90点以上合格 ※実技試験/A級27点以上・B級26点以上・C級25点以上合格

筆記試験	立会検定員名	点数	点	実技試験	点	総合評価	合格・不合格
特記事項							

右公認審判員受験者は

公認審判員規程の要約

- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
- 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
- ライセンスの有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
- 各ライセンス受験資格と試験内容
S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。筆記試験と実技試験。
A級・B級：筆記試験と実技試験
C級：空手修行黒帯以上。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。筆記試験と実技試験。
D級・E級：高校生以上かつ4級以上のものが受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。無試験。
- ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
- ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
- B級以上の審判員は救急士による救急救命セミナーを2年に1度受講すること。